

# もくじ

## ■地理探究（地探 701）

1	学習の到達目標 .....	2
2	科目の特色 .....	2
3	学習の計画 .....	3
4	評価の方法 .....	23

<b>地理探究</b>	単位数	3 単位 (105 時間)
	学科・学年・学級	〇〇科 第〇学年 〇組
使用教科書，副教材等	東京書籍『地理探究』（地探 701）， 東京書籍『要点マスター 地理探究』	

## 1 学習の到達目標

- ① 地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性，傾向性や関連する課題の発生要因を捉える学習を通して，現代世界の諸事象の地理的認識を深めるとともに，系統地理的な考察方法を身に付けます。
- ② ①をふまえ，選択した地域の特性とそこで発生する諸課題について捉える学習を通して，現代世界の諸地域の地理的認識を深めるとともに，地誌的な考察方法を身に付けます。
- ③ ①，②をふまえ，我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や持続可能な国土像の在り方を探究する学習を通して，現代世界における日本の現状と望ましい将来像についての認識を深めるとともに，主体的な学習活動である探究の手法を身に付けます。

## 2 科目の特色

「地理探究」は，必修科目である「地理総合」の学習によって身に付けた資質・能力を前提に，系統地理的な考察，地誌的な考察によって習得した知識や概念を活用して，現代世界に求められるこれからの持続可能な日本の国土像を探究するための科目です。

本科目の学習対象となる現代世界は，グローバル化の進展に伴って国や地域が結びつき，相互依存関係を一層強めています。一方で，私たちを取り巻く地球環境や国際情勢は日々変化を続け，それに伴い，身近な生活圏規模のレベルから，国家規模のレベル，地球規模のレベルに至るまで数多くの課題を抱えています。これら諸課題の解決策については，地理的な見方・考え方を身に付けることで見出すことができるはずです。そのために，地球上に存在する多様な自然環境とその下で展開される産業や生活文化の営みに代表される地理的諸事象，そして多様性に富んだ世界諸地域について認識し，それらを多面的・多角的にとらえていく必要があります。その上で，私たちが居住する日本の現状と抱えている課題をふまえながら，持続可能な社会の在り方について考えていく必要があります。

これらのねらいが達成できるよう，「地理探究」は以下のように構成されています。

第1編では，「自然環境」，「産業と資源」，「交通・通信，貿易・観光」，「人口，村落・都市」，「生活文化，民族・宗教」など，テーマごとに地理的事象を取り上げ，その分布や空間的な広がりについての考察を通して，地球的な視野から地理的事象を学習します。

第2編では，第1編で学習した系統地理的な知識や概念を活用して，世界諸地域の特色や課題について多面的・多角的に学習します。

第3編では，第1編，第2編で身に付けた系統地理的，地誌的な考察方法を活用して，我が国が抱える地理的な諸課題の現状とその解決の方向性，将来の国土像の在り方について探究します。

すなわち，「地理探究」は，「地理総合」の学習を前提に，地理の学びを一層深め，生徒た

ち一人一人が「生涯にわたって探究を深める」ためのきっかけづくりとして位置づけられ、系統地理と地誌に大別される地理学の成果や方法をふまえた上で、地理的な諸課題を探究することを通して持続可能な社会を形成することを意図して学習内容が構成されているのです。

これらの学習を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指しています。

### 3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
4 月	第1編 現代世界の系 統地理的考察 第1章 自然環境 第1節 世界の地形	1 地形をつくる力	○生活環境の基盤となる地形の重要性、地球表面の起伏の状態とその形成要因について理解します。	○衛星画像や模式図を用いて、地球表面の起伏の状態について読み取るとともに、地形の形成要因について考察します。
		2 プレートの運動とさまざまな境界	○世界の大地形の分布の特徴についてプレート境界や地震帯・火山帯分布との関係から理解を深めます。	○主題図を用いて、大地形の分布の特徴について、プレート境界や地震帯・火山帯分布との関係から考察します。
		3 変動帯の地形	○変動帯の特徴とその形成過程をプレート運動との関係からとらえるととともに、人間生活との関係について理解します。	○景観写真や模式図を用いて、変動帯の特徴とその形成過程をプレート運動との関係からとらえるととともに、人間生活との関係について考察します。
		4 安定地域の地形	○安定地域の特徴や形成過程、人間生活との関係について理解を深めます。	○景観写真や模式図を用いて、安定地域の特徴や形成過程、人間生活との関係について考察します。
		5 河川がつくる地形	○変動帯に見られる小地形の一つである河川がつくる地形の特徴とその形成過程、人間生活との関係について理解します。	○景観写真や模式図を用いて、変動帯に見られる小地形の一つである河川がつくる地形の特徴とその形成過程、人間生活との関係について考察します。

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
5月		6 海岸と海にみられる地形	○海岸地形やサンゴ礁地形の特徴とその形成過程，人間生活との関係について理解します。	○景観写真や模式図を用いて，海岸地形やサンゴ礁地形の特徴とその形成過程，人間生活との関係について考察します。
		7 気候や地質の影響が強い地形	○氷河地形や乾燥地形，カルスト地形の特徴とその形成過程，人間生活との関係について理解します。	○景観写真や模式図を用いて，氷河地形や乾燥地形，カルスト地形の特徴とその形成過程，人間生活との関係について考察します。
		自然災害 I 地震と津波	○地震・津波の発生メカニズムやそれによってもたらされる被害について理解します。	○写真を用いて，地震と津波の発生メカニズムや被害の状況について考察します。
	第2節 気候と自然環境	1 気候の見方	○気候の形成要素である気温と降水量の世界的な分布の特徴について理解します。	○模式図や主題図を用いて，気温と降水量の世界的な分布の特徴について考察します。
		2 大気大循環と気候	○大気大循環による風の流れの特徴と，それによって形成される降水量分布の特徴から，大気大循環と気候について理解します。	○模式図や主題図を用いて，大気大循環による風の流れの特徴と，それによって形成される降水量分布の特徴から，大気大循環と気候について考察します。
		3 海洋と陸水	○海洋と陸水における水の循環が，気温分布や水資源の維持に影響を与えていることについて理解します。	○模式図や主題図を用いて，海洋と陸水における水の循環が，気温分布や水資源の維持に影響を与えていることについて考察します。
		4 世界の植生・土壌	○世界規模での各気候帯の分布の特徴をふまえ，各気候帯と植生や土壌との対応関係について理解します。	○模式図を用いて，世界規模での各気候帯の分布の特徴，各気候帯と植生・土壌との対応関係について考察します。
	第3節 気候と人々の生活	1 ケッペンの気候区分	○各気候区の分類基準の理解をふまえ，雨温図やハイサーグラフの作成・読み取りを通じて，各気候区について理解します。	○各気候区の分類基準の理解をふまえ，雨温図やハイサーグラフを作成し，それを読み取ることで気候区を判別し，その特徴について考察します。

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		2 熱帯の特徴と人々の生活	○熱帯の各気候区の特徴やそこでの生活・文化，生じている諸課題について多面的・多角的に理解します。	○雨温図やハイサーグラフ，景観写真を用いて，熱帯の各気候区の特徴やそこでの生活・文化，生じている諸課題について多面的・多角的に考察します。
		3 乾燥帯の特徴と人々の生活	○乾燥帯の各気候区の特徴やそこでの生活・文化，生じている諸課題について多面的・多角的に理解します。	○雨温図やハイサーグラフ，景観写真を用いて，乾燥帯の各気候区の特徴やそこでの生活・文化，生じている諸課題について多面的・多角的に考察します。
		4 温帯の特徴と人々の生活(1)	○温帯の各気候区の特徴やそこでの生活・文化，生じている諸課題について多面的・多角的に理解します。	○雨温図やハイサーグラフ，景観写真を用いて，温帯の各気候区の特徴やそこでの生活・文化，生じている諸課題について多面的・多角的に考察します。
		5 温帯の特徴と人々の生活(2)	○温帯の各気候区の特徴やそこでの生活・文化，生じている諸課題について多面的・多角的に理解します。	○雨温図やハイサーグラフ，景観写真を用いて，温帯の各気候区の特徴やそこでの生活・文化，生じている諸課題について多面的・多角的に考察します。
		6 亜寒帯（冷帯）・寒帯の特徴と人々の生活	○亜寒帯（冷帯）・寒帯の各気候区の特徴やそこでの生活・文化，生じている諸課題について多面的・多角的に理解します。	○雨温図やハイサーグラフ，景観写真を用いて，亜寒帯（冷帯）・寒帯の各気候区の特徴やそこでの生活・文化，生じている諸課題について多面的・多角的に考察します。

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
6 月		7 高山気候の特徴と人々の生活	○高山気候の特徴やそこでの生活・文化、生じている諸課題について多面的・多角的に理解します。	○雨温図やハイサーグラフ、景観写真を用いて、高山気候の特徴やそこでの生活・文化、生じている諸課題について多面的・多角的に考察します。
		自然災害Ⅱ 異常気象と気候変化	○異常気象と気候変化によってもたらされる自然災害と被害の状況について理解します。	○写真を用いて、異常気象と気候変化によってもたらされる自然災害の被害状況について考察します。
	第4節 日本の自然環境と自然災害	1 日本の地形と自然災害	○日本の地形の特徴の理解をふまえ、自然災害の発生要因とそれが人々の生活にもたらす影響について理解します。	○主題図や航空写真を用いて、日本の地形の特徴を理解するとともに、写真や模式図を用いて、自然災害の発生要因とそれが人々の生活にもたらす影響について考察します。
		2 日本の気候と自然災害	○日本の気候の特徴の理解をふまえ、自然災害の発生要因とそれが人々の生活にもたらす影響について理解します。	○主題図や雨温図を用いて、日本の気候の特徴を理解するとともに、衛星写真や模式図を用いて、自然災害の発生要因とそれが人々の生活にもたらす影響について考察します。
		3 自然災害と防災・減災の取り組み	○防災・減災の取り組みについて把握するとともに、自助、共助、公助の観点からその取り組みの重要性について理解します。	○ハザードマップ等を用いて、防災・減災の取り組みについて把握するとともに、自助、共助、公助の観点からその取り組みの重要性について考察します。
	第5節 世界の環境問題	1 地球規模の環境問題	○地球規模で生じるさまざまな環境問題とその分布の特徴について、スケールの大小や南北問題との関わりをふまえて理解します。	○主題図を用いて、地球規模で生じるさまざまな環境問題とその分布の特徴について、スケールの大小や南北問題との関わりをふまえて考察します。

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		2 地球温暖化の背景と影響	○地球温暖化の現状，発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響，問題解決のための国際協力の具体的な取り組みと持続可能な社会の在り方について理解します。	○主題図や模式図，写真を用いて，地球温暖化の現状，発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響，問題解決のための国際協力の具体的な取り組みと持続可能な社会の在り方について考察します。
		3 オゾンホール，大気汚染の背景と影響	○オゾンホールや大気汚染の現状，発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響，問題解決のための国際協力の具体的な取り組みと持続可能な社会の在り方について理解します。	○主題図や模式図，写真を用いて，オゾンホールや大気汚染の現状，発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響，問題解決のための国際協力の具体的な取り組みと持続可能な社会の在り方について考察します。
		4 森林破壊の背景と地域性	○森林破壊の現状，発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響，問題解決のための国際協力の具体的な取り組みと持続可能な社会の在り方について理解します。	○主題図や模式図，写真を用いて，森林破壊の現状，発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響，問題解決のための国際協力の具体的な取り組みと持続可能な社会の在り方について考察します。
		5 砂漠化・水問題の背景と地域性	○砂漠化や水問題の現状，発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響，問題解決のための国際協力の具体的な取り組みと持続可能な社会の在り方について理解します。	○主題図や模式図，写真を用いて，砂漠化や水問題の現状，発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響，問題解決のための国際協力の具体的な取り組みと持続可能な社会の在り方について考察します。
		6 日本の環境問題	○日本の環境問題の歴史的な経緯と現状をふまえた上で，問題解決のための具体的な取り組みと持続可能な社会の在り方について理解します。	○主題図や模式図，写真を用いて，日本の環境問題の歴史的な経緯と現状について把握するとともに，問題解決のための具体的な取り組みと持続可能な社会の在り方について考察します。

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
7月	第2章 産業と資源 第1節 産業の発展と社会的分業	1 産業の変遷	○産業の変遷過程，それに伴う産業の高度化とその社会的背景について理解します。	○主題図や絵画，グラフを用いて，産業の変遷過程，それに伴う産業の高度化とその社会的背景について考察します。
		2 産業構造と地域構造	○産業構造の変化に伴ってもたらされる産業立地や地域構造の変化の特徴について理解します。	○主題図や模式図を用いて，産業構造の変化に伴ってもたらされる産業立地や地域構造の変化の特徴について考察します。
	第2節 農林水産業	1 農業の立地と形態	○農業立地の成立要因について自然条件，社会条件，市場条件などとの関わりから理解します。	○主題図や模式図，写真を用いて，農業立地の成立要因について自然条件，社会条件，市場条件などとの関わりから考察します。
		2 世界のさまざまな農業地域	○農業の成立・発展過程とその社会的背景について三つの変革との関わりから理解します。	○主題図や模式図を用いて，農業の成立・発展過程とその社会的背景について三つの変革との関わりから考察します。
		3 グローバル化と農業地域の変容	○現代農業の特色についてフードシステムの観点から理解するとともに，グローバル化に伴う農業地域の変容についてアメリカ，アジアを例に理解します。	○主題図や模式図，グラフや写真を用いて，現代農業の特色についてフードシステムの観点から考察するとともに，グローバル化に伴う農業地域の変容についてアメリカ，アジアを例に考察します。
		4 拡大する世界の農産物流通	○世界の農産物流通の特徴について小麦，米，畜産物，野菜を例に理解します。	○主題図や模式図，グラフや写真を用いて，世界の農産物流通の特徴について小麦，米，畜産物，野菜を例に考察します。
		5 世界の林業・水産業	○森林資源の分布と役割ならびに林業の現状，水産資源の分布ならびに水産物貿易・保護の現状について理解します。	○主題図や模式図，グラフを用いて，森林資源の分布と役割ならびに林業の現状，水産資源の分布ならびに水産物貿易・保護の現状について考察します。

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		6 日本の農林水産業	○日本の農林水産業の特徴をふまえた上で、変化をもたらす社会的背景について国内外の動向との関わりから理解します。	○主題図や模式図、グラフを用いて、日本の農林水産業の特徴について把握するとともに、変化をもたらす社会的背景について国内外の動向との関わりから考察します。
	第3節 食料問題	1 食料問題の背景と地域性	○食料の供給・生産・流通における食料問題の地域的相違について地球的視野から理解します。	○主題図やグラフを用いて、食料の供給・生産・流通における食料問題の地域的相違について地球的視野から考察します。
		2 食料問題の解決に向けて	○食料増産へ向けた世界的な取り組みの現状と課題、食料不足解消へ向けた国際協力の動向について理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、食料増産へ向けた世界的な取り組みの現状と課題、食料不足解消へ向けた国際協力の動向について考察します。
		3 日本の食料問題	○自給率低下、安定供給、安全性という観点から、日本の食料問題について多面的・多角的に理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、自給率低下、安定供給、安全性という観点から、日本の食料問題について多面的・多角的に考察します。
9月	第4節 エネルギーと 鉱産資源	1 世界のエネルギー需要	○暮らしを支えるエネルギーの重要性、需要の高まりによって生じる問題点について、多面的・多角的に理解します。	○主題図やグラフを用いて、暮らしを支えるエネルギーの重要性、需要の高まりによって生じる問題点について、多面的・多角的に考察します。
		2 化石燃料	○石油、石炭、天然ガスなどの化石燃料の生産・消費と貿易の現状、世界における近年のエネルギー事情の動向について、多面的・多角的に理解します。	○主題図やグラフを用いて、石油、石炭、天然ガスなどの化石燃料の生産・消費と貿易の現状、世界における近年のエネルギー事情の動向について、多面的・多角的に考察します。
		3 電力生産	○各種電力生産の特徴と課題への深い理解をもとに、効率的な電力供給へ向けた取り組みについて、持続可能性という観点から模索します。	○主題図や模式図を用いて、各種電力生産の特徴と課題への深い理解をもとに、効率的な電力供給へ向けた取り組みについて、持続可能性という観点から考察します。

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		4 金属資源	○工業発展に不可欠な金属資源の重要性とそれを取り巻く国際情勢について、鉄鉱石と非鉄金属、レアメタルそれぞれの生産・消費の動向との関わりから理解します。	○主題図やグラフを用いて、工業発展に不可欠な金属資源の重要性とそれを取り巻く国際情勢について、鉄鉱石と非鉄金属、レアメタルそれぞれの生産・消費の動向との関わりから考察します。
	第5節 資源・エネルギー問題	1 化石燃料への依存と国家間の対立	○化石燃料の大量消費に伴い生じる資源の枯渇や環境問題、石油戦略に関わる国際政治の動向について理解します。	○グラフを用いて、化石燃料の大量消費に伴い生じる資源の枯渇や環境問題、石油戦略に関わる国際政治の動向について考察します。
		2 化石燃料から再生可能エネルギーへ	○地球の持続可能性という観点から望ましいエネルギー政策の実現へ向けた取り組みについて、多面的・多角的に理解します。	○グラフを用いて、地球の持続可能性という観点から望ましいエネルギー政策の実現へ向けた取り組みについて、多面的・多角的に考察します。
		3 日本の資源・エネルギー問題	○わが国の資源・エネルギーにおける高い輸入依存度を脱却し、自給率向上を目指す取り組みや、新たな資源開発の動向について理解します。	○主題図やグラフを用いて、わが国における資源・エネルギーの高い輸入依存度を脱却し、自給率向上を目指す取り組みや、新たな資源開発の動向について考察します。
	第6節 工業の立地と工業地域の変容	1 工業の立地と工業地域	○工業の立地条件が複数の類型に区分できること、立地条件が時代とともに変化する背景や要因、もたらされる課題について理解します。	○主題図や模式図、写真を用いて、工業の立地条件が複数の類型に区分できること、立地条件が時代とともに変化する背景や要因、もたらされる課題について考察します。
		2 繊維・鉄鋼・石油化学	○繊維・鉄鋼・石油化学を事例に、各々の工業における立地の特徴と近年の変化の動向について理解します。	○主題図やグラフを用いて、繊維・鉄鋼・石油化学を事例に、各々の工業における立地の特徴と近年の変化の動向について考察します。
		3 自動車・エレクトロニクス	○自動車とエレクトロニクスを事例に、多国籍企業による工業立地の特徴と国際分業体制について理解します。	○主題図やグラフを用いて、自動車とエレクトロニクスを事例に、多国籍企業による工業立地の特徴と国際分業体制について考察します。

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		4 新しい技術と工業	○ICT の導入によって工業のスマート化が進行している現状とそれによってもたらされる諸課題について理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、ICT の導入によって工業のスマート化が進行している現状とそれによってもたらされる諸課題について考察します。
		5 グローバル化と工業地域の再編	○グローバル化の進展によって進行している工業地域の再編とそれによってもたらされる諸課題について理解します。	○主題図や模式図、写真を用いて、グローバル化の進展によって進行している工業地域の再編とそれによってもたらされる諸課題について考察します。
		6 工業の知識集約化	○工業の知識集約化に伴う特定地域における産業の集積とネットワーク形成の動向について理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、工業の知識集約化に伴う特定地域における産業の集積とネットワーク形成の動向について考察します。
		7 日本の工業とその変容	○高度経済成長期から現在に至るまでの日本の工業の変遷と最近の動向について理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、高度経済成長期から現在に至るまでの日本の工業の変遷と最近の動向について考察します。
	第7節 第三次産業	1 サービス経済化の進展と流通産業の発達	○サービス経済化の進展を支える流通産業の発達や消費者行動の変化の実態、それによって生じる小売業立地の変化について理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、サービス経済化の進展を支える流通産業の発達や消費者行動の変化の実態、それによって生じる小売業立地の変化について考察します。
		2 情報通信業とその集積	○情報通信業の急速な発展の背景と国内外における立地の特性について理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、情報通信業の急速な発展の背景と国内外における立地の特性について考察します。
		3 医療・福祉産業の課題	○医療・福祉産業拡大の背景や地域格差の実態、保育サービスに焦点を当てた国際比較の現状について理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、医療・福祉産業拡大の背景や地域格差の実態、保育サービスに焦点を当てた国際比較の現状について考察します。
10月	第3章 交通・通信・観光 第1節 交通・通信	1 交通の発達(1)	○移動手段の発展が時間距離の短縮につながり、グローバル化を促したことで、その一端を担う陸上・水上両交通の特徴について理解します。	○グラフや写真を用いて、移動手段の発展が時間距離の短縮につながり、グローバル化を促したことで、その一端を担う陸上・水上両交通の特徴について考察します。

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		2 交通の発達(2)	○航空を含めた交通の発達をもたらす利点と問題点について多面的に理解するとともに、環境負荷を減らすための新たな交通のあり方について検討します。	○主題図やグラフ、模式図や写真を用いて、航空を含めた交通の発達をもたらす利点と問題点について多面的に考察するとともに、環境負荷を減らすための新たな交通のあり方について提案します。
		3 情報通信技術の発達	○情報通信技術の発達が高度情報化社会をもたらしたことを前提に、そのような社会が進展することによる利点と問題点について理解を深めます。	○主題図やグラフ、模式図を用いて、情報通信技術の発達が高度情報化社会をもたらしたことを前提に、そのような社会が進展することによる利点と問題点について考察します。
	第2節 貿易と経済連携	1 貿易の自由化と経済連携	○自由貿易が促進された背景やそれに伴いもたらされた世界規模での経済連携拡大の状況について理解します。	○主題図やグラフ、模式図を用いて、自由貿易が促進された背景やそれに伴いもたらされた世界規模での経済連携拡大の状況について考察します。
		2 現代貿易の課題	○現代の貿易が抱える課題について世界レベル、国内レベル各々の視点から多面的・多角的に理解します。	○主題図やグラフを用いて、現代の貿易が抱える課題について世界レベル、国内レベル各々の視点から多面的・多角的に考察します。
	第3節 観光	1 観光の発達と地理的展開	○観光産業発達の背景と動向、その地理的展開の特徴について、多面的・多角的に理解します。	○主題図やグラフを用いて、観光産業発達の背景と動向、その地理的展開の特徴について、多面的・多角的に考察します。
		2 さまざまな観光	○時代の変化とともに観光そのものが世界規模において多様化していることをふまえ、日本における観光の変化の動向について理解します。	○主題図やグラフを用いて、時代の変化とともに観光そのものが世界規模において多様化していることをふまえ、日本における観光の変化の動向について考察します。
	第4章 人口、村落・都市 第1節 人口	1 世界の人口分布と人口増加	○世界の人口分布の特徴とその背景をふまえた上で、地球規模での人口増加の変遷とその要因、今後の予測について理解します。	○主題図やグラフを用いて、世界の人口分布の特徴とその背景をふまえた上で、地球規模での人口増加の変遷とその要因、今後の予測について考察します。

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
11 月		2 人口動態とピラミッド	○人口動態の推移について理解するとともに、各国の置かれた社会状況を読み解く手段としての人口ピラミッドの有効性について認識します。	○グラフを用いて、人口動態の推移についての理解をふまえ、各国の人口ピラミッドを作成することで、その国の置かれた社会状況について考察します。
		3 人口移動の変遷と今日の姿	○地球規模での人口移動の変遷について歴史的背景から理解するとともに、労働者と難民を事例に人口移動の特徴とその社会的背景について認識を深めます。	○主題図やグラフを用いて、地球規模での人口移動の変遷についての理解をふまえ、労働者と難民を事例に人口移動の特徴とその社会的背景について考察します。
	第2節 人口問題	1 発展途上国の人口問題	○発展途上国が抱える人口問題の特徴とその背景・要因、もたらされる影響についての理解をふまえ、問題解決へ向けての国際協力のあり方について模索します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、発展途上国が抱える人口問題の特徴とその背景・要因、もたらされる影響についての理解をふまえ、問題解決へ向けての国際協力のあり方について提案します。
		2 先進国の人口問題	○先進国が抱える人口問題の特徴とその背景・要因、もたらされる影響についての理解をふまえ、それらを克服するための取り組みについて模索します。	○主題図やグラフを用いて、先進国が抱える人口問題の特徴とその背景・要因、もたらされる影響についての理解をふまえ、それらを克服するための取り組みについて提案します。
	第3節 村落・都市	1 村落の機能と形態	○村落の機能と立地要因、形態の特徴や成立条件についての理解をふまえ、近年の村落の変化の状況と抱えている課題について認識を深めます。	○航空写真や地形図を用いて、村落の機能と立地要因、形態の特徴や成立条件についての理解をふまえ、近年の村落の変化の状況と抱えている課題について考察します。

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		2 都市の機能と都市システム	○都市機能の拡充過程をふまえ、都市システムが形成される背景について、その階層性との関わりから理解するとともに、近年の都市間競争の活発化により、世界都市を目指す動きが盛んであることを理解します。	○主題図やグラフを用いて、都市機能の拡充過程をふまえ、都市システムが形成される背景について、その階層性との関わりから理解するとともに、近年の都市間競争の活発化により、世界都市を目指す動きについて考察します。
		3 都市の内部構造と大都市圏	○都市の成長拡大によってその内部構造が複雑化すること、都市圏の広がりや段階的な発展をたどっていることを理解します。	○主題図や模式図を用いて、都市の成長拡大によってその内部構造が複雑化すること、都市圏の広がりや段階的な発展をたどっていることを考察します。
	第4節 居住・都市問題	1 発展途上国の居住・都市問題	○発展途上国における都市化の過程とそれに伴って生じる居住・都市問題について、ジャカルタを事例に多面的・多角的に理解します。	○主題図やグラフ、模式図を用いて、発展途上国における都市化の過程とそれに伴って生じる居住・都市問題について、ジャカルタを事例に多面的・多角的に考察します。
		2 先進国の居住・都市問題	○先進国における都市の衰退現象に伴う問題点とそれをもたらした社会的背景、より良い居住環境の創造へ向けた取り組みについて理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、先進国における都市の衰退現象に伴う問題点とそれをもたらした社会的背景、より良い居住環境の創造へ向けた取り組みについて考察します。
		3 日本の居住・都市問題	○日本の都市が直面している一極集中や都市の縮退などの諸問題、解決への取り組みについて、多面的・多角的に理解します。	○主題図や写真を用いて、日本の都市が直面している一極集中や都市の縮退などの諸問題、解決への取り組みについて、多面的・多角的に考察します。
	第5章 生活文化、民族・宗教 第1節 生活文化の地域性	1 文化と環境	○文化についての定義の理解をふまえ、世界諸地域における文化の形成過程と変容過程について、多面的・多角的に理解します。	○主題図や写真を用いて、文化についての定義の理解をふまえ、世界諸地域における文化の形成過程と変容過程について、多面的・多角的に考察します。

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		2 世界の食生活	○食文化が地域によって異なる要因や、それが変容する過程について、多面的・多角的に理解します。	○主題図や写真を用いて、食文化が地域によって異なる要因や、それが変容する過程について、多面的・多角的に考察します。
		3 世界の住居・衣服	○住居や衣服が地域によって異なる要因や、それが変容する過程について、多面的・多角的に理解します。	○主題図や写真を用いて、住居や衣服が地域によって異なる要因や、それが変容する過程について、多面的・多角的に考察します。
	第2節 民族・言語・宗教	1 世界の民族と言語	○民族についての定義の理解をふまえ、言語や国家との相互関係について、多面的・多角的に理解します。	○主題図を用いて、民族についての定義の理解をふまえ、言語や国家との相互関係について、多面的・多角的に考察します。
		2 世界の宗教	○世界の宗教分布の特徴とその形成過程についての理解をふまえ、宗教を軸にした世界の文化的多様性について理解します。	○主題図や写真を用いて、世界の宗教分布の特徴とその形成過程についての理解をふまえ、宗教を軸にした世界の文化的多様性について考察します。
	第3節 民族問題	1 世界の多様な民族問題	○世界各地で生じている民族問題の背景について、国家や宗教との関わりから理解します。	○主題図を用いて、世界各地で生じている民族問題の背景について、国家や宗教との関わりから考察します。
		2 紛争と難民	○世界各地で生じている民族紛争や難民問題が生じる社会的背景について、多面的・多角的に理解します。	○主題図を用いて、世界各地で生じている民族紛争や難民問題が生じる社会的背景について、多面的・多角的に考察します。
		3 民族問題をどう乗り越えるか	○民族紛争や難民問題の解決へ向けた取り組みと課題について、具体的事例をもとに理解します。	○主題図を用いて、民族紛争や難民問題の解決へ向けた取り組みと課題について、具体的事例をもとに考察します。
	第4節 現代の国家と領土問題	1 国家の領域と国境線	○国家の領域や国境の概念について、具体例をもとに理解します。	○主題図や模式図、写真を用いて、国家の領域や国境の概念について、具体例をもとに考察します。

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
12月	第2編 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 第1節 地域区分の意義と方法	2 領土問題の要因と解決への取り組み	○日本を含めた領土問題の発生要因への理解をふまえ、その解決策について多面的・多角的に模索します。	○主題図を用いて、日本を含めた領土問題の発生要因への理解をふまえ、その解決策について多面的・多角的に考察します。
		1 地域区分の意義	○さまざまな指標によって地域を区分することの意義について理解します。	○主題図を用いて、さまざまな指標によって地域を区分することの意義について考察します。
		2 さまざまな地域区分の方法	○さまざまな指標によって地域を区分する方法について理解します。	○さまざまな指標によって地域を区分する方法について考察します。
	第2章 現代世界の諸地域 第1節 東アジア—項目ごとに整理して考察する—	3 地域の考察方法	○世界の諸地域の地域的特色をとらえるための地誌的な考察方法について理解します。	○主題図を用いて、世界の諸地域の地域的特色をとらえるための地誌的な考察方法について考察します。
		1 中国の改革開放と急速に進む工業化	○改革開放政策に伴って急速に進む中国の工業化とそれによる影響について理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、改革開放政策に伴って急速に進む中国の工業化とそれによる影響について考察します。
		2 中国の農業・農村の近代化と都市化	○改革開放政策に伴いもたらされた中国の農業の近代化とその動向、都市化の現状とそれに伴い生じる諸問題について、具体的事例をもとに理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、改革開放政策に伴いもたらされた中国の農業の近代化とその動向、都市化の現状とそれに伴い生じる諸問題について、具体的事例をもとに考察します。
		3 環境問題などの課題	○中国国内の多様な民族構成についての理解をふまえ、経済成長に伴って変化する人々の生活、深刻化する環境問題や経済格差の現状とその取り組みについて理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、中国国内の多様な民族構成についての理解をふまえ、経済成長に伴って変化する人々の生活、深刻化する環境問題や経済格差の現状とその取り組みについて考察します。
4 経済成長により広がる中国の影響力	○国際社会における中国の影響力について、産業面や資源獲得競争、外交政策の面から理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、国際社会における中国の影響力について、産業面や資源獲得競争、外交政策の面から考察します。		

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		5 韓国の経済成長と地域構造	○経済成長に伴う韓国の産業立地の特性や地域構造の変化、それに伴って生じる経済格差やソウル一極集中の問題、解決へ向けての取り組みについて理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、経済成長に伴う韓国の産業立地の特性や地域構造の変化、それに伴って生じる経済格差やソウル一極集中の問題、解決へ向けての取り組みについて考察します。
		6 韓国の都市・農村の変化と生活文化	○工業化に伴う韓国の都市化の進展と農村における変化の様相について理解するとともに、国内の生活文化の特徴と変化の動向について理解します。	○写真を用いて、工業化に伴う韓国の都市化の進展と農村における変化の様相について考察するとともに、国内の生活文化の特徴と変化の動向について考察します。
	第2節 東南アジア一項目ごとに整理して考察するー	1 東南アジアの多様な文化	○東南アジアの文化の多様性や共通性について言語、宗教を切り口に理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、東南アジアの文化の多様性や共通性について、言語、宗教を切り口に考察します。
2 東南アジアの地域性と農業		○東南アジアの地域性の特徴とそれを土台に成立した商業的農業の動向について理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、東南アジアの地域性の特徴とそれを土台に成立した商業的農業の動向について理解します。	
3 ASEANの政治と経済発展		○ASEANの協働体制の特徴と工業化の動向について、タイとマレーシアを事例に理解します。	○主題図やグラフを用いて、ASEANの協働体制の特徴と工業化の動向について、タイとマレーシアを事例に理解します。	
4 国家間の格差などの課題		○東南アジアの経済発展による先端産業の振興の一方で、国家間、民族間、都市・農村間での格差が深刻化していることを理解します。	○写真を用いて、東南アジアの経済発展による先端産業の振興の一方で、国家間、民族間、都市・農村間での格差が深刻化していることを理解します。	
1月	第3節 南アジアー経済成長に着目するー	1 グローバル化と南アジアの経済発展	○南アジアにおける経済自由化や産業開発、工業化の進展について、グローバル化に伴う経済発展との関わりから理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、南アジアにおける経済自由化や産業開発、工業化の進展について、グローバル化に伴う経済発展との関わりから考察します。

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		2 大都市の形成と格差の問題	○経済成長や都市化に伴うインド社会の変化について、メリットとデメリットに区分しながら理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、経済成長や都市化に伴うインド社会の変化について、メリットとデメリットに区分しながら理解します。
		3 インドの人口増加と農村の変化	○インドにおける人口急増、農業の発展、農村社会の変化の背景について、多面的・多角的に理解します。	○主題図やグラフを用いて、インドにおける人口急増、農業の発展、農村社会の変化の背景について、多面的・多角的に理解します。
		4 南アジア世界の多様性と統一性	○南アジア世界の多様性と共通性について文化を指標に理解するとともに、地域間協力の現状について、具体的事例をもとに理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、南アジア世界の多様性と共通性について文化を指標に理解するとともに、地域間協力の現況について、具体的事例をもとに考察します。
	第4節 西アジアと中央アジア—二つの地域を比較する—	1 交易の歴史と人々の生活	○シルクロードにおける交易を中心に発展していった西アジアと中央アジアの歴史的経緯をふまえ、両地域における人々の生活の特徴について、農業を軸に理解します。	○写真を用いて、シルクロードにおける交易を中心に発展していった西アジアと中央アジアの歴史的経緯をふまえ、両地域における人々の生活の特徴について、農業を軸に考察します。
		2 乾燥地に適応した生活文化と宗教	○西アジアと中央アジアの共通点と相違点について、生活文化と宗教を指標に理解します。	○主題図や模式図、グラフや写真を用いて、西アジアと中央アジアの共通点と相違点について、生活文化と宗教を指標に考察します。
		3 資源開発にみられる二つの地域の違い	○西アジアと中央アジアの共通点と相違点について、資源開発と産業を指標に理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、西アジアと中央アジアの共通点と相違点について、資源開発と産業を指標に考察します。
	第5節 北アフリカとサハラ以南アフリカ—二つの地域を比較する—	1 多様な文化の成り立ち	○北アフリカとサハラ以南アフリカの共通点と相違点について歴史、生業と文化を指標に理解します。	○主題図を用いて、北アフリカとサハラ以南アフリカの共通点と相違点について、歴史、生業と文化を指標に考察します。

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		2 モノカルチャー経済克服の課題	○北アフリカとサハラ以南アフリカの共通点と相違点について、経済、産業を指標に理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、北アフリカとサハラ以南アフリカの共通点と相違点について、経済、産業を指標に考察します。
		3 アフリカの発展と新たな課題	○北アフリカとサハラ以南アフリカ諸国における発展の状況や他地域との結びつきについて理解します。	○グラフや写真を用いて、北アフリカとサハラ以南アフリカ諸国における発展の状況や他地域との結びつきについて考察します。
	第6節 ヨーロッパ 地域統合に着目するー	1 ヨーロッパ統合の流れ	○ヨーロッパ統合が進む背景について民族と宗教との関わりから理解するとともに、統合へ向けての歴史の変遷について認識を深めます。	○主題図を用いて、ヨーロッパ統合が進む背景について、民族と宗教との関わりから理解するとともに、統合へ向けての歴史の変遷について考察します。
		2 ヨーロッパの農業とその変容	○ヨーロッパにおける農業の多様性と現状についての理解をふまえ、EUの共通農業政策の特徴とそれがもたらした課題と見直しの動きについて認識を深めます。	○主題図やグラフを用いて、ヨーロッパにおける農業の多様性と現状についての理解をふまえ、EUの共通農業政策の特徴とそれがもたらした課題と見直しの動きについて考察します。
		3 ヨーロッパの産業とその変容	○ヨーロッパにおける産業の変容について、工業の多極化、サービス経済化を指標に理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、ヨーロッパにおける産業の変容について、工業の多極化、サービス経済化を指標に考察します。
		4 EUの拡大と地域格差	○EUの東方拡大の背景とそれによりもたらされている課題について理解し、地域格差の問題について認識を深めます。	○主題図やグラフ、写真を用いて、EUの東方拡大の背景とそれによりもたらされている課題について理解し、地域格差の問題について考察します。
		5 揺らぐ「一つのヨーロッパ」	○イギリスのEU離脱を切り口に、EUが抱えている諸課題についての理解をふまえ、その克服へ向けた国家間の協力関係について模索します。	○主題図やグラフを用いて、イギリスのEU離脱を切り口に、EUが抱えている諸課題について理解し、その克服へ向けた国家間の協力関係について考察します。

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
2月	第7節 ロシア一項目ごとに整理して考察する一	1 多様な民族と宗教	○ロシア国内の多様な民族、宗教についての認識をふまえ、国内における民族問題や周辺諸国との間に抱える領土問題について理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、ロシア国内の多様な民族、宗教について認識し、国内における民族問題や周辺諸国との間に抱える領土問題について考察します。
		2 ポスト社会主義時代の暮らし	○ロシアでの市場経済への移行に伴う経済、社会、人々の暮らしにおける変化の動向について理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、ロシアでの市場経済への移行に伴う経済、社会、人々の暮らしにおける変化の動向について考察します。
		3 周辺国との産業・資源をめぐる関係の変化	○ロシアの農業、鉱工業地域の分布の特徴についての理解をふまえ、近年の産業地域の変化とそれに伴い生じている地域格差の問題について認識を深めます。	○主題図やグラフ、写真を用いて、ロシアの農業、鉱工業地域の分布の特徴についての理解をふまえ、近年の産業地域の変化とそれに伴い生じている地域格差の問題について考察します。
第8節 アングロアメリカ一項目ごとに整理して考察する一	アングロアメリカ一項目ごとに整理して考察する一	1 アングロアメリカの農業	○アングロアメリカの自然環境の多様性とそれによって形成される農業地帯の特色について理解します。	○主題図と写真を用いて、アングロアメリカの自然環境の多様性とそれによって形成される農業地帯の特色について考察します。
		2 多民族社会がかかえる問題	○アングロアメリカの特色である多民族・多文化社会の形成過程について、歴史的背景をふまえて理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、アングロアメリカの特色である多民族・多文化社会の形成過程について、歴史的背景をふまえて考察します。
		3 世界最大のアングロアメリカ経済	○アングロアメリカの経済が世界最大と位置づけられる社会的背景について、先端技術、金融、鉱産資源の側面から理解するとともに、課題について認識を深めます。	○グラフ、写真を用いて、アングロアメリカの経済が世界最大と位置づけられる社会的背景について、先端技術、金融、鉱産資源の側面からの理解をふまえ、課題について考察します。
		4 先端産業の発展と鉱工業地域の変化	○アングロアメリカの鉱工業地域の変化について、先端技術産業の発展との関わりから理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、アングロアメリカの鉱工業地域の変化について、先端技術産業の発展との関わりから考察します。

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		5 情報社会に移行する大都市圏	○アンглоアメリカにおける情報社会と就業構造の変化に伴う大都市圏の拡大と変容の様相について、多面的・多角的に理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、アンглоアメリカにおける情報社会と就業構造の変化に伴う大都市圏の拡大と変容の様相について、多面的・多角的に考察します。
	第9節 ラテンアメリカ項目ごとに整理して考察するー	1 ラテンアメリカの成り立ち	○ラテンアメリカの文化の形成の経緯について、歴史的背景をふまえながら理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、ラテンアメリカの文化の形成の経緯について、歴史的背景をふまえながら考察します。
2 ラテンアメリカの産業の発展と経済成長		○ラテンアメリカの産業の発達の変遷について、農業、工業の両面から理解するとともに、グローバル化と地域統合が進む現状について認識を深めます。	○主題図やグラフ、写真を用いて、ラテンアメリカの産業の発達の変遷について、農業、工業の両面からとらえるとともに、グローバル化と地域統合が進む現状について考察します。	
3 森林破壊などの問題		○ラテンアメリカにおける開発や都市化の現状とその進展によって生じる諸課題について認識を深めるとともに、同地域の移民社会としての特徴についても多面的・多角的に理解します。	○主題図やグラフ、写真を用いて、ラテンアメリカにおける開発や都市化の現状とその進展によって生じる諸課題についてとらえるととともに、同地域の移民社会としての特徴についても多面的・多角的に考察します。	
	第10節 オセアニア項目ごとに整理して考察するー	1 多文化共生の課題	○オーストラリアとニュージーランドの多文化社会の形成過程について、先住民族、ヨーロッパ移民、アジア系移民との関わりから理解します。	○主題図やグラフを用いて、オーストラリアとニュージーランドの多文化社会の形成過程について、先住民族、ヨーロッパ移民、アジア系移民との関わりから考察します。
		2 オセアニアの資源と産業	○オーストラリアやニュージーランドにおける鉱産資源や農業の特徴や位置づけとその重要性について、多面的・多角的に理解します。	○主題図やグラフ、模式図や写真を用いて、オーストラリアやニュージーランドにおける鉱産資源や農業の特徴や位置づけとその重要性について、多面的・多角的に考察します。

月	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
3 月		3 オセアニアと他地域との結び付き	○オーストラリア，ニュージーランドと環太平洋地域との経済的な結びつきについて，貿易と観光に着目して理解します。	○主題図やグラフ，写真を用いて，オーストラリア，ニュージーランドと環太平洋地域との経済的な結びつきについて，貿易と観光に着目して考察します。
		南極・北極	○北極と南極それぞれの地理的特徴について理解するとともに，近年の動向について国際社会との関わりから認識を深めます。	○主題図や模式図，写真を用いて，北極と南極それぞれの地理的特徴について把握するとともに，近年の動向について社会との関わりから考察します。
	第3編 現代世界と日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究 第1節 日本の地理的諸課題を読み解く	1 日本の地域構造	○日本の地域構造の歴史の変遷について理解するとともに，現代の地域構造の特徴によって生じている地理的諸課題について認識を深めます。	○主題図やグラフを用いて，日本の地域構造の歴史の変遷について把握するとともに，現代の地域構造の特徴によって生じている地理的諸課題について考察します。
		2 日本の国土政策	○日本の国土政策の歴史の変遷について理解するとともに，今後の国土づくりのあり方について，国内における地理的諸課題の現状をふまえて模索します。	○主題図やグラフ，各種統計資料を用いて，日本の国土政策の歴史の変遷について把握するとともに，今後の国土づくりのあり方について，国内における地理的諸課題の現状をふまえて考察します。
	第2節 持続可能な国土像の探究	1 課題と仮説の設定	○日本が抱える地理的諸課題の解決と持続可能な国土形成の方策の探究に向けて，課題探究のプロセスを理解します。	○主体的・対話的な学習方法を用いながら，日本が抱える地理的諸課題の解決と持続可能な国土形成の方策の探究に向けて，課題と仮説の設定および考察を行います。
		2 仮説の検証と考察，さらなる探究へ	○日本が抱える地理的諸課題の解決と持続可能な国土形成の方策について探究します。	○主体的・対話的な学習方法を用いながら，日本が抱える地理的諸課題の解決と持続可能な国土形成の方策について探究します。

## 4 評価の方法

### (1) 評価の結果を生かす

評価は自分自身の学習の過程や成果を教師の側が確認するためになされるものです。教師側からの指摘により不十分と判断された点があれば、直ちに修正してその後の学習につなげることができるようになっていきたいと思います。そのためにも、返却されたテストやレポート、自己評価などの見直しを徹底するよう心掛けましょう。

### (2) 評価の観点

評価は学習で身に付ける力を次の三つの観点から把握するようにします。

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"><li>○地図や地理情報システムなどの読み取りを通して、地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因について理解することで、現代世界の諸事象の地理的認識を深めている。</li><li>○地図や地理情報システムなどの読み取りを通して、世界諸地域の特性とそこで発生する諸課題について理解することで、現代世界の諸地域についての地理的認識を深めている。</li><li>○調査、討論、発表などの探究的な学習を通して、現代世界における日本の現状について理解することで、望ましい将来像についての認識を深めている。</li></ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"><li>○地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。</li><li>○考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりすることができる。</li></ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"><li>○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。</li><li>○よりよい社会の実現を視野に、世界諸地域や日本において見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li><li>○地理的な課題への多面的・多角的な考察や深い理解を通して市民としての自覚を持つとともに、社会へ参画することへの意識が高まっている。</li></ul>

### (3) 評価の時期と方法

ア 年5回実施の定期考査では、ペーパーテストによって出題範囲における知識と資料活用の技能の習得状況、思考・判断・表現を評価します。

イ 課題追究学習の際のレポートを評価のための資料とします。課題の設定・追究学習を行う際には、「演習問題」などを参考にしてください。

ウ 日頃の学習活動の様子や発表、討論、論述などの内容を評価のための資料とします。

エ 授業に対する自己評価や振り返りを記入したワークシートを参考とします。学習内容の振り返りを行う際には、「確認しよう」などを参考にしてください。

### (4) 評定について

評定は、上記の方法で得られた評価に関する情報を総合的に判断して行います。